

# 詩と人類学

アートを超えて

『Flowers like blue glass』  
(Commonword)

刊行記念

## ふくだぺろ × 川瀬慈 トーク & パフォーマンス

イギリスの Commonword 社から刊行されたふくだぺろの日本語と英語の平行詩集『flowers like blue glass』を記念して、イベント「詩と人類学」を開催します。ゲストは日本を代表する映像人類学者であり、自作詩のパフォーマンスもする川瀬慈。ふくだと川瀬、それぞれの詩人かつ人類学者としての知識と実践を通じて、詩と人類学あるいはひろい意味での芸術（制度化されたアートではなく）と人類学についてのトーク、パフォーマンスを展開します。シュールレアリスムやエスノポエティクスといった人類学と詩が協働した過去も踏まえながら、なぜ人類学と芸術が交差するのか、芸術＝詩、人類学について熱いセッションを展開します。



ふくだぺろ / 福田浩久

詩人、立命館大学先端総合学術研究科博士課程。論文、映画、詩、写真、インスタレーション等媒体を横断したメディア人類学を実践する。最近の展示に「Tim/pulse 脈動する映像」 (@KCUA, 2018)、書籍に『flowers like blue glass』 (Commonword, 2018) など。  
<http://www.fukudapero.com>



川瀬慈 (かわせいつし)

映像人類学者。エチオピアの吟遊詩人、楽師たちの人類学研究を行っている。革新的な映像作品は各国の主要な映画祭において表彰。近著に『ストリートの精霊たち』(世界思想社、2018年)。国立民族学博物館 / 総合研究大学院大学准教授。

[www.itsushikawase.com/japanese](http://www.itsushikawase.com/japanese)

日時：2019年2月2日(土) 19時～

開場：誠光社 京都市上京区中町通丸太町上ル俵屋町 43 7

定員：30名

ご参加費：1500円 + 1ドリンクオーダー

ご予約先：s-contact@seikosha-books.com

(イベント名、お名前、お電話番号をご記載ください)

